

レクチャー及び資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会(資料配布)
2. 国土交通記者会(資料配布)
3. 国土交通省建設専門紙記者会(資料配布)

日時：平成29年2月8日(14:00)



## 国立研究開発法人土木研究所『共同研究者の募集』について (トンネルの補修・補強工に関する共同研究)

国立研究開発法人土木研究所では、平成29年度新規に実施する以下の共同研究について、共同研究者を募集しますのでお知らせします。なお、研究内容等の詳細につきましては、担当チームにお問い合わせください。

### 1. 土木研究所が提案する共同研究 (土研提案型：公募共同研究)

トンネルの補修・補強工に関する共同研究 (詳細は別添-1)	平成29年4月(予定) ～平成33年3月
担当： 道路技術研究グループ トンネルチーム 材料資源研究グループ	
<u>共同研究の目的(必要性)</u> 老朽化が進行したトンネルでは外力による覆工コンクリートのひび割れや、うき、はく離、漏水等の変状が多数存在し、利用者被害の発生が課題となっている。このようなトンネルでは変状原因に応じた対策工として補修・補強工が必要に応じて実施されるが、これまでに対策工の合理的な選定手法とともに、効果の持続性や耐久性についての評価方法は確立されていない。さらに、道路トンネルでは対策工の設置にあたり長時間にわたる交通規制を伴うことが多く、交通渋滞等の発生による社会的コストへの影響がきわめて大きいことが課題となっている。 本共同研究は、トンネルの補修・補強工に関して既存の技術よりも合理的または短時間での施工が可能となる施工性に優れた技術や、耐久性に優れた技術の改良もしくは開発とともに、対策工の効果の持続性や耐久性の評価方法について検討を行う。	
<u>共同研究の内容</u> (1)施工性・耐久性に優れた補修・補強工の開発 (2)効果の持続性および耐久性の評価方法の開発	

### 2. 募集期間 平成29年2月8日(水)から平成29年3月10日(金)17:00まで

### 3. その他 土木研究所の共同研究制度の概要や申請書等の様式につきましては、土木研究所ホームページ(<http://www.pwri.go.jp/>)に掲載しております。

問 い 合 わ せ 先	
全般的なことについて	国立研究開発法人土木研究所 企画部 研究企画課 課長 崎谷 和貴 主査 古田 佳吾 電話 029-879-6751
研究内容について	国立研究開発法人土木研究所 道路技術研究グループ トンネルチーム 上席研究員 砂金 伸治 総括主任研究員 石村 利明 電話 029-879-6791

# 別添－1

## 1. 共同研究の名称

トンネルの補修・補強工に関する共同研究

## 2. 共同研究の概要

< 共同研究の目的 >

老朽化が進行したトンネルでは外力による覆工コンクリートのひび割れや、うき、はく離、漏水等の変状が多数存在し、利用者被害の発生が課題となっている。このようなトンネルでは変状原因に応じた対策工として補修・補強工が必要に応じて実施されるが、これまでに対策工の合理的な選定手法とともに、効果の持続性や耐久性についての評価方法は確立されていない。さらに、道路トンネルでは対策工の設置にあたり長時間にわたる交通規制を伴うことが多く、交通渋滞等の発生による社会的コストへの影響がきわめて大きいことが課題となっている。

本共同研究は、トンネルの補修・補強工に関して既存の技術よりも合理的または短時間で施工が可能となる施工性に優れた技術や、耐久性に優れた技術の改良もしくは開発とともに、対策工の効果の持続性や耐久性の評価方法について検討を行う。

< 共同研究の内容（項目） >

- (1) 施工性・耐久性に優れた補修・補強工の開発
  - ・要求される性能の検討
  - ・補修・補強工の開発
  - ・実証実験（現地試験を含む）
  - ・適用性評価
- (2) 効果の持続性および耐久性の評価方法の開発
  - ・評価方法の設定
  - ・室内評価試験
  - ・実証実験（現地試験を含む）
  - ・効果の持続性および耐久性の評価方法の提案

3. 実施期間 平成29年4月（予定） ～ 平成33年3月

<裏面もご覧下さい>

#### 4. 共同研究の内容及び研究分担

研究の分担

研究項目	研究細目	研究分担※1		年次計画			
		土研	共同研究者	29年度	30年度	31年度	32年度
(1) 施工性・耐久性に優れた補修・補強工の開発※2	① 要求される性能の検討	◎	○	←→			
	② 補修・補強工の開発	○	◎	←→	←→		
	③ 実証実験（現地試験を含む）	○	◎		←→	←→	←→
	④ 適用性評価	◎	○				←→
(2) 効果の持続性および耐久性の評価方法の開発	① 評価方法の設定	◎	○	←→	←→		
	② 室内評価試験	◎	○		←→	←→	
	③ 実証実験（現地試験を含む）	○	◎		←→	←→	←→
	④ 効果の持続性および耐久性の評価の提案	◎	○			←→	←→

※1 研究分担に主従がある場合は、主として分担する場合は◎印、従として分担する場合は○印とする。

※2 共同研究者がみずから実験等による検証を実施する。検証にあたっては、必要に応じて土木研究所所有の施設を使用することができる。

#### 5. 共同研究に参画する条件及び募集する参加者数等

< 参画条件 >

以下の条件すべてを満たす者

- ① 関連するテーマの研究を行っていること
- ② 本共同研究の開発目的に合致した補修・補強工、材料等に関する要素技術を有していること
- ③ 共同研究に参加できる研究者が所属し、共同研究に配置できること
- ④ 共同研究のための経費を分担できること

< 参加者数 >

3者（グループを含む）程度を想定

< 参加者の選定方法 >

募集を超える応募があった場合は、共同研究申請書の内容の審査および必要によりヒヤリングを実施し、研究実績、研究内容、研究員数および経歴、研究費等を総合的に評価し決定する。

#### 6. その他

申請書を提出する前に下記担当者までご連絡下さい。

#### 7. 担当者

道路技術研究グループ トンネルチーム

砂金・石村（TEL：029-879-6791）

材料資源研究グループ

新田・百武（TEL：029-879-6763）